



# ほけんだより 12月号



令和3年12月1日  
Kids Landまほろば

看護師

早いもので今年も後1ヶ月となりました。今年は夏から秋にかけて急激に寒くなったので、風邪を引く子がたくさん見られるようになりました。風邪に加えて胃腸炎などの感染症が流行る時期でもありますので、園では引き続きこまめな手洗いやうがい呼びかけ、感染予防を心がけていきますね。

## 子ども達の様子

11月は鼻水・咳などの風邪症状が見られるお子さんがいました。また発熱・体調不良でお休みのお子さんが7名いました。

## 年末年始の急病時の対応

年末年始は多くの医療機関が休診となります。急な体調不良に備えて、事前にかかりつけ医や近隣の救急病院の診療時間や休診日を確認しましょう。

休日・夜間の受診に迷った時には・・・

- ・「こどもの救急」で検索します。  
受診判断の目安が確認できます。  
(日本小児科学会監修)
- ・#8000(全国统一短縮番号)短縮番号が使用できない場合は☎052-962-9900で受診判断や医療機関案内が受けられます。(看護師または医師による対応、午後7時～翌朝8時受付)

## 冬休みの 注意点

お休みの間は生活リズムが乱れやすくなるので、夜は決まった時間にお子様と一緒に布団に入るようにしましょう。また、ポットやファンヒーターなど、やけどの事故に注意が必要です。お子様の手が触れないように工夫をお願いします。



## 薬の飲ませ方

### シロップ

薄めずにそのまま飲ませます。乳児は必要な量をスポイトやスプーンで取り、口の中に入れます。

### 粉薬

#### ●水で溶く場合

少量の水か、ぬるま湯で薬を溶かします。飲ませる時はスプーンやスポイト、コップなどを使いましょう。

#### ●直接口に入れる場合

開いた状態の口の中に直接粉薬を入れます。

#### ●練る場合

小さな器に粉薬を入れ、数滴の水をたらし、だんご状に練ります。練った薬は頬の内側あたりに塗ります。

## ×食品に混ぜる時は×

抗生物質の中でもマクロライド系(クラリスロマイシン・クラリス)のものは果汁ジュースやスポーツドリンク等の酸性のものに混ぜると強い苦みが出ます。このお薬はお子様飲みやすいように薬を甘い成分でコーティングしています。この成分が酸性のものに触れることで剥がれてしまうためです。どんな食べ物と合うのか薬剤師に聞いてみるのもよいでしょう。

食品に混ぜる場合、残してしまうこともあるので、薬を混ぜる時の量は少なめにシミルクやおかゆなどの主食には混ぜないようにしましょう。味の変化で食べ物自体を嫌いになってしまう可能性があります。

・どの飲ませ方をした場合も薬を飲んだ後は水や湯冷ましを飲ませましょう。どうしても薬が飲めないときには、粉薬をシロップに変えたり、薬の種類を変えられる場合もあるので、かかりつけ医へ相談してみましよう。

また、飲み残しの処方薬を自己判断で飲ませるのはやめましょう。薬はそのときの症状、年齢、体重に合わせて処方されているため、似た症状であっても同じ薬が使えるとは限りません。薬が必要なときはその都度診察を受けましょう。

